

審議会等の会議結果報告書

課所名 生涯学習課 博物館

会議名 令和6年度 第1回諏訪市博物館協議会

開催日時 令和6年12月13日(金) 午前10時00分～11時40分

出席者 委員 樋口公男委員長 平林富美子副委員長 岩波美保委員 河手正彦委員
小林健治委員 百瀬美津穂委員 古畑しずゑ委員 百瀬一郎委員 宮坂早苗委員
事務局 三輪教育長 細野教育次長 小林課長 土田館長 児玉主査(学芸員) 三嶋主査
(学芸員)
オブザーバー 岩波教育委員

欠席者 北島和孝委員

資料 令和6年度第1回諏訪市博物館協議会資料、教育振興基本計画(抜粋)、ミュージアムパスポート

報告・協議事項及び会議結果(要旨)

■報告事項「第二次諏訪市教育振興基本計画に基づく令和6年度の重点的取り組みについて」・
協議事項「博物館の調査研究・公開活動における市民協働の取組について(意見交換)」

— 市民協働企画現場の視察 —

- ・『諏訪史』関連資料調査の説明と協力者からの感想
- ・『源氏物語』活字化プロジェクトの事業内容を、現物を見せながら説明

主な意見

- ・どの事業も市民協働がとても意識されていて良い。市民と一緒に、をととても感じる。
- ・最近博物館からの発信が多いと感じる。市民の間でも博物館の話が話題に挙がる。
- ・大人は子供たちのこだわりや興味関心にアンテナを張ることが大切。いかにそれに寄り添うかが求められている。
- ・知りたい子供たちに向けて、諏訪の歴史の概要を解説した講座を開いてほしい。
- ・今までも課題として挙がっていても実現できていなかったことがいよいよ動き出した。
- ・来館して実物を見たり学芸員の話の聞いたりすると、チラシだけでは伝わらないものがあると感じる。今後SNSや動画も活用しながら、新しい手段で歴史を発信していったほしい。
- ・博物館に来ると多くの刺激を受けるため、これを若い世代にも味わわせたい。
- ・見るだけでは終わらない、その先につながるような思いを寄せる人が広がるといいと思う。
- ・発信すると市民はそれに返してくれると感じた。
- ・このような市民協働企画は、新しい人が博物館に足を運ぶきっかけになる。
- ・人と人の文化度が繋がると、自分の人生も豊かになっていく。
- ・諏訪には世界に出て行った大きな産業がいくつもあり、同時に名前を消した企業もある。その企業の業績を、諏訪の産業の歴史として電子版でもいいので文字に残してほしい。
- ・歴史、民俗、産業をこれからの博物館の柱にしてほしい。
- ・資料整理は市民と一緒にやっていくことであるため、これからも市民協働を進めてほしい。
- ・諏訪のものづくりの技術や精神をこれからもつなげていきたい。六市町村で連携したい。